

STEP1 研修開始



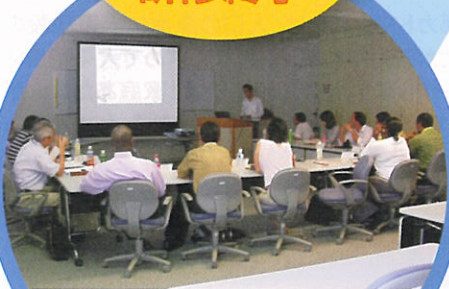
国の課題・問題点を
発表

STEP2 研修中



講義・視察・実験

STEP3 研修終了



帰国後の活動計画を
発表

STEP4 研修後



活動計画実行状況を
報告

札幌市で世界の「水道技術者」が育っています

「札幌市の水道はまるで夢のようです。蛇口をひねればきれいな水が困ったときは24時間対応してくれる」毎年、札幌市に学びに来るアジア、札幌の人々にとっては「あたりまえ」の水道技術が、世界の水道技術者の

365日出てきて、寒くても水が凍らない。アフリカ、中南米の水道技術者が口を揃えて言うことばです。貴重な学びの場となっています。

世界に羽ばたく 研修員！

水道技術の研修コースは年間2回(夏3カ月(6月～9月)、冬2カ月(1月～3月))行われ、毎年16人程度が札幌から世界に巣立っています。H21年度は夏にブラジル、イラク、ジャマイカ、ラオス、ペルー、東ティモール、ジンバブエから8名が参加しました。冬は、雪への対応、凍らない技術など寒冷地に特有の問題解決方法も学ぶため、札幌と似たような気候の東アジア、中央アジア、コーカサス地方の国々から研修員が来ています。

開発途上国から
日本の技術を学びにくる人たちが
「研修員」と呼んでいるんだよ。

みんな真剣な
様子で、水道のこと
学んでるんだね。

水道技術者 コース

(ラオス)



サイパサ・リエソネさん

どのような仕事をしていますか？

ラオスの厚生労働省で、人々が安全で安価な水を手に入れられるように法律や制度を作っています。

あなたにとって水とは？

生命に不可欠で、とても貴重で大切なものです。

札幌の水の印象は？

ほとんど全ての人に安全で安心な水を供給できるのはすごいことです。札幌の経験、歴史から出来るだけ多くを学びたいと思っています。

札幌の皆さんに一言

研修は自分自身だけでなく、ラオスの国民にとってとても有意義です。みなさんに感謝したいです。

札幌の技術が
世界に広がって
るんだね。



▲定山溪ダムにて(2009年7月)

水道技術者 コース

(ジャマイカ)



ラトヤ・ジャクソンさん

どのような仕事をしていますか？

ジャマイカの西部地域で、安全な水を供給できるように、水を綺麗にする仕事を行っています。

あなたにとって水とは？

命です。

札幌の水の印象は？

とても「ショッキング」です。こんなに安全な水が蛇口をひねればいつも飲める国があるなんて！

札幌の皆さんに一言

皆さんが与えてくれた、研修の機会にとっても感謝しています。帰国後ジャマイカの270万人の人口に貢献するためにがんばります。



JICA研修員が、札幌市の水道技術を活かして各国の水道技術を向上できるよう、札幌市水道局、JICA専門員、JICEコーディネーター、沢山の関係者が協力して研修を実施しています。今回は研修を支える方々に生の声を聞いてみました。

研修での役割は？

研修カリキュラム作りを主にしています。札幌市には種々の技術がありますが、研修員により必要なものを選び、水道局内の各担当と協力してメニューを作っています。

あなたにとって水とは？

仕事です。

研修員に一言

札幌の水道技術をきっかけにどんどん世界でつながってほしい。

札幌市水道局研修担当 源内職員



研修での役割は？

源内職員と協力してカリキュラム作り。

あなたにとって水とは？

命の糧。常に無くてはならないもの。

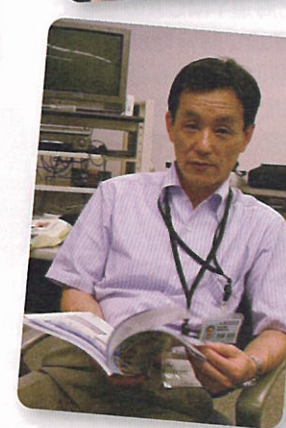
研修で心がけていることは？

先進技術を押し付けるのではなく、各国に合ったものを提供したい。

研修員に一言

何事にも情熱と持続性をもって取り組んで、札幌をきっかけに自分の国の水道事情を改善してほしい。

札幌市水道局研修担当 斉藤係長



研修での役割は？

日本の水道局勤務経験・途上国での専門家経験を活かして、札幌市側と途上国側の技術をつなげる役割を持っています。

あなたにとって水とは？

農業、水道、生活、社会、沢山の分野とつながる面白い存在です。

水道の専門家から一言

札幌市水道局には、培ってきた高い技術・経験をぜひ、途上国のために役立てて欲しいと思っています。市民の皆さんはぜひ、研修員について知ることから始めて欲しいですね。

JICA国際協力専門員 山本敬子さん



研修での役割は？

「コーディネーター」として、通訳・引率等を行っています。

あなたにとって水とは？

なくてはならないものです。

コーディネーターとして心がけていることは？

文化、常識、個人としての思いを理解し、日本側と研修員側のコミュニケーションが円滑になるよう、サポートを心がけています。

JICE 須貝コーディネーター

